



通信

HP 学校だより
R6. 4. 24
NO. 5
文責 伊藤美佳



自分の身を守るために

交通安全教室を23日(火)に実施し、1、2年生は学校周辺を安全に歩くこと、3年生は自転車の乗り方を学びました。

1、2年生は通学班ごとに並んで、「横断歩道の渡り方」「信号のある交差点の通行の仕方」などを交通指導員さんから丁寧に教えていただきました。横断歩道の前で止まって、右・左・右を見て、手を挙げて渡る、止まってくれた車に「ありがとう」を伝えるなど、当たり前であってもいざやってみるとできていないことがたくさんあったようです。終わってから子どもたちの様子を教えていただくと、「子どもたちに信号のある交差点を渡ったことがあるか聞いてみたら、ほとんど経験がなかったのにびっくりしました。だから、渡るときに見る信号が分からず、近くの信号を見て渡ろうとする子が多くて危険でした。」とのことでした。「経験がない」ということの怖さを改めて感じました。

3年生は自転車の乗り方を岡崎警察署の方、駐在さんや地域安全ステーションの皆さんに教えていただきました。はじめに、自転車の点検についてのお話がありました。「ブタハトシャベル」を点検することが大切だと教えていただきました。ちなみに、「ブレーキ」「タイヤ」「ハンドル」「どうか(灯火=ライト)」「シャ(サ)ドル」「ベル」のことです。安全を確認してから、エアー自転車で乗り方を学びました。エアー自転車でも、しっかりとヘルメットをかぶって練習しました。自転車では、点検とヘルメット着用は必ずできる身を守る方法だと強く感じました。子どもたちにも伝わっていることを期待しています。また、障害物がある場所では、後方確認をすることで出ようとしていることがドライバーに伝わることをご指導いただきました。

最後に、岡崎警察署の方が「教えたことを忘れずにちゃんとやってくれたので、豊坂小学校の子たちはすごいと思いました。」と言ってくださいました。

今年度より帽子での登下校が日常となりました。中には、帽子をかぶらずにいる子どももいます。黄色い帽子をかぶることで小学生であることをドライバーが認知してくれます。以前のヘルメット同様、しっかりとかぶって登下校できる豊坂っ子でいてほしいです。また、黄色い帽子は強風で飛びやすいので、帽子を拾おうと道路に飛び出したり、池に入ったりすることがないように、あごひもを付けていただけるようお願いしました。最近、取り外し可能なあごひもをつけている子どももいて、ご家庭で工夫していただいていることに感謝の気持ちでいっぱいです。

子どもたちの命を守るのは、周囲の大人の責任であることはもちろんですが、子どもたち自身が「自分の身は自分で守る」という意識がなければいけないと思います。横断歩道を渡る子どもたちの様子から、「前の子についていけばいい」という気持ちが垣間見えるときがあります。学んだことを自分事として実践できるように、ぜひ、ご家庭でも話題にしてみてください。そして、一度、お子さんといっしょに信号のある交差点を渡ったり、自転車の点検をしたりしていただけるとありがたいです。学校では多くの体験活動を取り入れて、子どもたちの「経験」を増やすようにしていきます。

「経験」は身を助けてくれると信じて